

# 来週の「売り物」記事はこれ



2011年2月10日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## あなたの処方箋 いびき くらしナビA面 15~18日

日本人の約2000万人がかくと言われるいびき。放置すると日中だるさが抜けなかったり、発作的に睡魔に襲われる恐れが増します。睡眠時無呼吸症候群になれば脳卒中や高血圧、さらには交通事故を招く危険性も。どんな治療法があるのでしょうか。



## お好み焼きを楽しもう くらしナビB面 15日



冷蔵庫の余りで楽しめるお好み焼き。外はカリッ、中はふんわり、おいしく焼けるコツをお教えします。キャベツや豚肉だけでなく、ごぼうや豆腐やチーズなど、何でも好きなものを入れたり、ソースを工夫したりすれば、飽きが来ません。

## 一からわかる 会社員の確定申告 くらしナビA面 16日

医療費をたくさん払った人、寄付をした人などは確定申告で税金を取り戻すことができます。市販の風邪薬、美容整形の手術代……。さまざまな医療費がありますが、何が控除できるのか、またどんな人が確定申告したらいいのか、調べてみました。



### その1 ザ・特集

## 「ピンピン生きて、 कोरोリとあの世に旅立ちたい」

### ルポ・ぴんころ地蔵に詣でるひとたち 17日(木)



いま、高齢者の間では、「PPK」という言葉が静かに浸透しています。なんだか新たな貿易協定の枠組みかと思ってしまうようですが、「ピンピン生きて、 कोरोリとあの世へ」の略だとか。その祈りの場として知られるのが、長野県佐久市の「ぴんころ地蔵」と、ぽっくり寺の異名のある横浜市の福泉寺。この「ぴんころ」の聖地に集う人たちの願いとは――。「達者でポックリ」を提唱する医師、帯津良一さんと一緒に考えました。

「知りたいが分かる、がモットーの「ザ・特集」に、ご期待下さい。

## その2 ああ、わがふるさと宮崎県よ！

夕刊特集ワイド面 15日(火)

昨年は口蹄疫の拡大に苦しんだ宮崎県ですが、今度はまた鳥インフルエンザに加えて、霧島山(新燃岳)噴火の被害に見舞われています。生活の基盤が揺らぎ、不安を訴える宮崎の人たち。今こそ、<宮崎をどげんかせんといかん>とばかりに、ゆかりの著名人が熱いエールをおくります。前宮崎県知事の東国原英夫、シドニー五輪の金メダリストで柔道家の井上康生、女優の斉藤慶子、歌手の泉谷しげる、人気マンガ「釣りバカ日誌」原作者のやまさき十三の各氏が寄せるメッセージ。宮崎の人たちに対してだけでなく、いま、この国に住まう人たちに寄せる「熱い思い」になっています。ぜひ、お読みください。



### 企画「明日はある…か～消費税考」

18日以降、連載



社会保障給付と税負担のあり方を考える企画「明日はある…か～消費税考」を18日以降、連載します。3部にわたって連載してきた「明日はある…か」シリーズはこれまで、▽社会構造の変化とともに、現行の給付と負担の関係が維持できなくなっていること▽年金や医療、介護の保険料の引き上げも限界に来ていること▽消費税率20%以上と「高福祉・高負担」の典型である北欧と対比しながら、日本でも負担増を真剣に議論する必要があること——を指摘してきました。

最終シリーズの第4部では、①財政・経済状況②社会保障制度③政治状況④世論——の観点から、消費税導入時(89年)、税率引き上げ時(94年に決定、97年に実施)と現在との違いや、消費税増税の持つプラス、マイナスの影響、政治・社会に及ぼすインパクトについて、消費税導入、引き上げにかかわった政治家、官僚の証言も盛り込みながら生々しく描写。なぜ、消費税増税の道のが険しいのかを考えていきます。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。